

秋季県高校野球きょう準決勝

光星×弘東 山田高×弘工

秋季県高校野球選手権は24日、青森市の県営球場で準決勝2試合を行い、東北大会に出場する3チームのうち、まず2校が決定する。東北大会は来春の選抜高校野球大会(センバツ)出場の選考資料となるため、センバツを目指す4校にとって負けられない一戦。これまでの戦いぶりから準決勝を展望する。

▽八学光星―弘前東 3連覇を目指す八学光星は初戦で好投手を擁する八工大一を破り、準々決勝は姉妹校の野辺地西を下した。2試合で18安打を放った打線は打率3割超を誇り、得点力が光る。投手陣は主戦向井と成田が登板しており、野辺地西戦では向井が2失点完投と調子を上げてい

光る得点力 VS 失策ゼロ

弘前東は投打にレベルが高く、特に投手陣が光る。主戦の左腕鳥谷部は準々決勝、東奥義塾打線を2安打に抑え1失点で完投。初戦の聖ウルスラ戦で登板した須藤は、7回7安打1失点と好投した。野手陣は2試合無失策と安定感があり、チームは3割3分3厘の高打率だ。

▽青森山田―弘前工 青森山田は4校トップの打率4割。打線は下位まで穴がない。2試合で11犠打と伝統の手堅い攻めは健在だ。準々決勝の大湊戦で2失策とほころびが出たものの、夏場の練習で力を入れた守備には安定感がある。初戦の十和田工戦で7回無失点の寺岡と、主戦対馬の継

4割打線に継投で対抗

投が見込まれる。弘前工は4強唯一の公立校。6年ぶりの東北大会を目指す。工藤から齋藤竜への継投が勝ちパターン。青森山田の強力打線を継投でかわしたい。工藤は準々決勝の八戸西戦で6回無安打と好投した。チーム打率は2割8分6厘にとどまるが、7盗塁、6犠打と足を絡めた攻撃が持ち味だ。(山口拓郎)

きょうの試合

(左のチームが一塁側)

◇県営

▷準決勝

八学光星―弘前東(10・0)

青森山田―弘前工(12・30)